



食品衛生管理のための培地シリーズ

BD® mCCDA クリアーHT寒天培地

カンピロバクターの選択分離培地

特長

- 培地が透明でコロニーがクリアに見える
- さまざまな形態のコロニーも見落とさない
- 高い選択性で夾雑菌に邪魔されない

Clear 1 培地が透明でコロニーがクリアに見える

図1. *C. jejuni* (ATCC® 29428™) を3種類の培地で培養

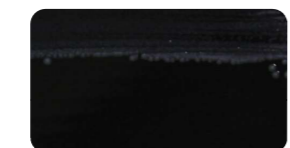
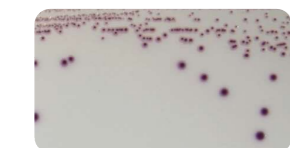
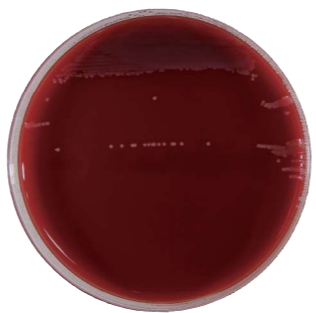
BD® mCCDAクリアーHT寒天培地



mCCDA寒天培地



変法カンピロバクター血液寒天培地



従来のカンピロバクター選択培地は、培地中の発育阻害物質の除去のために、血液あるいは活性炭が添加されていますが、培地が不透明でありコロニーの識別に課題がありました。本製品は特許製法により、培地を透明にすることで視認性を高めました(図1)。

Clear 2 さまざまな形態のコロニーも見落とさない

図2. BD® mCCDAクリアーHT寒天培地での *C. jejuni* の紫色のコロニー

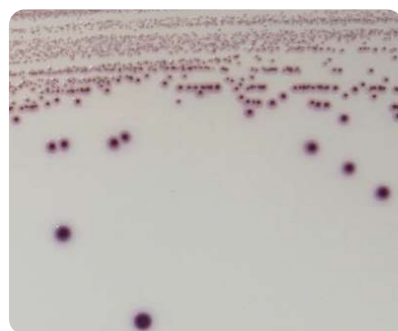
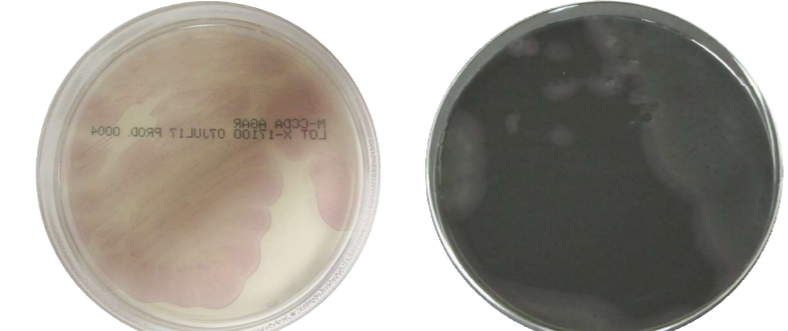
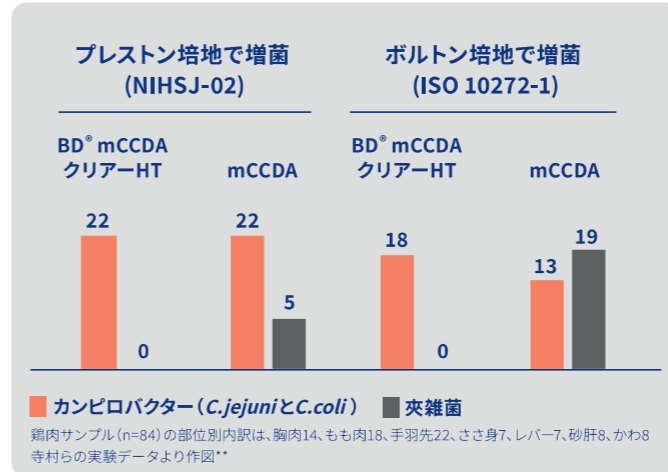


図3. BD® mCCDAクリアーHT寒天培地(左画像)と既存のmCCDA寒天培地(右画像)での液体が薄く広がった水滴状のコロニー形状の例



本製品にて培養したカンピロバクターのコロニー形態は、通常、図2に示すような紫色の円形のコロニーを形成します。しかし、カンピロバクターのコロニー形態は培地表面の水分に依存し、液体が薄く広がったような水滴状の視認しにくいコロニーを形成することがあります(図3)。従来の着色された培地では、このような水滴上のコロニーを識別しにくいことがありますが、本製品は透明な培地上に紫色のコロニーを形成させることで、高い視認性を確保させました。

Clear 3 高い選択性で夾雑菌に邪魔されない



● 食品からの微生物標準試験法NIHSJ-02法に従いプレストン培地で増菌した場合とISO 10272-1に従いボルトン培地で増菌した場合の、BD® mCCDA クリアーHTとmCCDAでのカンピロバクターと夾雑菌の検出数を比較した。

● プレストン培地で増菌した場合はどちらの培地でも22サンプルからカンピロバクターが検出された。ボルトン培地で増菌した場合は、BD® mCCDA クリアーHTでは18サンプルからカンピロバクターが検出されたのに対して、mCCDAでは13サンプルからカンピロバクターが検出された。

● 夾雑菌に関しては、プレストン培地で増菌した場合はmCCDAでは5件検出されたが、BD® mCCDAクリアーHTでは検出されなかった。ボルトン培地で増菌した場合はmCCDAでは19件検出されたが、BD® mCCDA クリアーHTでは検出されなかった。

* 国立医薬品食品衛生研究所が設置した「食品からの微生物標準試験法検討委員会」が定めたカンピロバクター・ジェジュニ/コリ標準試験法
 ** Teramura, H. et al. Development of a Novel Chromogenic Medium for Improved Campylobacter Detection from Poultry Samples. J. Food Prot., Vol.78, PP1750-1755 (2015)

食品検体や糞便に多く存在する腸内細菌科菌群をはじめとするカンピロバクター以外の細菌、カビ・酵母などの発育を抑制します。昨今話題となっている耐性菌 (ESBL: Extended Spectrum β Lactamase) に分解されにくい選択剤を使用することで、ESBL産生菌を含む多くの夾雑菌に対する抑制力を向上させました。

生培地 ※国内製造品

製品名	カタログ番号	包装単位
BD® mCCDA クリアーHT寒天培地	252794	20枚
	252950	100枚

関連生培地 ※国内製造品

製品名	カタログ番号	包装単位
BD BBL™ キャンピロバクター10%ヒツジ血液寒天培地	251727	20枚
BD BBL™ 変法カンピロバクター10%ヒツジ血液寒天培地	252068	20枚
BD BBL™ スキロー培地	252111	20枚